

令和7年度 一般社団法人日本樹木医会北海道支部会員発表会

日時 令和8年2月14日（土） 13:25～16:45（開場13:00）
 場所 かでる2.7 940研修室（札幌市中央区北2条西7丁目）

プログラム

時間	発表者	題名	要旨	
13:25		開 会		
13:30 ～14:00 発表・質疑 含む	石山 隆	石山式街路樹診断カルテのしくみ	私、石山隆が自分で開発し使用している樹木診断カルテ入力システムの動作を、実際に入力作業を行なながらカルテのPDFと総括表のXLSXを出力する過程を見ていただきます。	
14:00 ～14:30 発表・質疑 含む	○神田 克明 今田 秀樹	北海道の記念保護樹木「本別開拓:ハルニレ」の診断について	北海道の記念保護樹木に指定されている本別町のハルニレ（「本別開拓」）は、幹周515cmで同記念保護樹木に指定されているハルニレ12本中4番目に太い。推定樹齢400年以上と高齢で幹心材腐朽が激しく、過去には大枝落下などの被害も見られました。このことから今回、ハルニレの外観診断や精密診断により健康状態を明らかにするとともに、今後の保全対策等を検討しましたので紹介します。	
14:30 ～15:00 発表・質疑 含む	秋本 正信	ゴマダラカミキリによるルブルムカエデの被害事例	JR美唄駅東口のルブルムカエデ街路樹の多くがゴマダラカミキリの被害を受け、枯損も発生しました。被害状況を紹介するとともに、類似種である特定外来生物ツヤハダゴマダラカミキリとの識別点についても述べます。	
15:00 ～15:15		休 憇		
15:15 ～16:45		ニレ類立枯病特集		
15:15 ～15:45	池ノ谷 重男	「ニレ類立枯病」と思われる事例について	札幌市内で遭遇したニレ類立枯病と思われる7件の事例について紹介します。	
15:45 ～16:15	金田 正弘	都市緑地のハルニレでニレ類立枯病（キクイムシ類）と遭遇	10月初旬樹病研究者の石原誠氏（森林総研九州支所）が苫小牧に来られました。市内の公園2ヶ所と街路樹2ヶ所のハルニレを観察しました。偶然ですが、ニレ類立枯病と遭遇することになりました。北大の宮本先生の講演で聞いた内容が身近にあったことになります。石原先生は、わざわざ熊本から札幌にハルニレの調査に来ていました。たしかに宮本先生の演題も「北海道における」となっています。ハルニレは、道内緑化木の主要な樹木です。石原誠氏のやり取りを含め、身近なハルニレにニレ類立枯病（キクイムシ類）発生の可能性について、皆様と考えてみたいと思います。	
16:15 ～16:45		ニレ類立枯病についての意見交換		
16:45		閉 会		

※○は発表者